読書のあとで

「表紙」題字　滑川道夫先生　昭和初期の教育家。一九〇六年生れ。秋田師範学校卒。児童文学と学校図書館の普及に尽くした。

絵　合川東小学校　二年　後藤　叶

平成二十一年度北秋田市読書感想画コンクール
特選「ながれ星の中の100かいだての家」
書名　100かいだてのいえ
著者名　いわい としお

もくじ

発刊によせて　北秋田市教育長　三澤　仁 …… 4

読書感想画

☆幼稚園・保育園の部〈特選〉

やっぱり　さかなは　おいしいなあ　鷹巣中央保育園　三澤香花 …… 5
おなべのおゆ　だいじょうぶかな　鷹巣東保育園　斉藤夢望 …… 5

☆小学校の部〈特選〉

ほっほっほ〜、みんなよかったのう　鷹巣東小学校　一年　長岐喬 …… 6
フラミンゴとあそんだよ　合川西小学校　一年　平川晴菜 …… 6
雪ばとのほしかったプレゼント　綴子小学校　二年　佐藤裕 …… 7
ながれ星の中の100かいだての家　合川東小学校　二年　後藤叶 …… 7

〈入選・佳作〉 …… 8

読書感想文

☆小学校の部〈特　選〉

やまんばばあさんみたいになりたいな……合川北小学校　三年　土田楓子……19

仲間の大切さとは……前田小学校　四年　岸野菜々子……20

自分らしく生きること……鷹巣南小学校　五年　堀部綾乃……21

プロへの一歩一歩……米内沢小学校　六年　神成大夢……22

☆中学校の部〈特　選〉

幸せだらけの日常……合川中学校　二年　小野千賀子……24

☆高校・一般の部〈特　選〉

私にとっての『それでも農は命綱』……佐藤利子……26

重い遺言〝日本の子どもたちへ〟……三澤昭彦……28

平成二十一年度北秋田市読書感想文コンクール入賞者一覧……30

平成二十一年度北秋田市読書感想画コンクール入賞者一覧……33

応募された方々……36

審査の先生

〈感想文〉亀山恵子（前森吉中校長）　畠山理央子（鷹巣西小）

宮野恵子（綴子小）　児玉博一（鷹巣東小）

畠山昌子（鷹巣小）　近藤一子（鷹巣中央小）

本間秀徳（米内沢小）　大渕康孝（合川北小）

笠井史穂（鷹巣中）　藤田里子（鷹巣南中）

〈感想画〉和田克郎（元扇田小学校長）

佐々木久隆（阿仁中学校長）

※本文中のカットは『北の造形 四十二集』より抜粋

……発刊によせて……

「読書のすすめ」

北秋田市教育長　三澤　仁

平成二十一年度の北秋田市読書感想文コンクールへの応募は百五十七点（小137、中15、一般5）で昨年より十六点少なく、読書感想画コンクールへは四百五十八点（幼・保156、小302）と昨年より三点多い応募でした。作品を応募してくれた園児や小・中学生、さらには一般の皆さん、そして指導して下さいました先生方、本当にありがとうございました。また、お忙しの中、感想文は十名、感想画は二名のそれぞれの審査の先生方が、たくさんの作品を丁寧に審査して下さいました。

改めまして、深く感謝申し上げます。

感想文・感想画への応募が年々増えてきている中で、今回は中高生の応募が少なかったのは残念ですが、今後も子供たちが本に親しんでくれることを強く期待します。

「一年の計は元旦にあり」といわれますが、私の今年の目標は一年間で百冊の本を読むことです。少し高い目標を設定しましたが、これは自分にプレッシャーをかけたのです。どうせなら、思い切って目標を高くし、いやおうなしに自分を追い込もうと。一年で百冊読むとすると、一ケ月におよそ八冊から九冊読まなければなりません。三日か四日に一冊のペースで読めばよいことになりますので、目標達成めざしてがんばります。

数学者であり多くの随筆も出している藤原正彦という先生がいます。彼は「小学校の勉強で大切なものは、一に国語、二に国語、三、四がなくて十に算数である。」と声を大にしていっています。また、「国語力をきたえるためには、読書を積み重ねる以外にありえません。」ともいっています。

本をたくさん読むには、我慢力が要ります。我慢力をつけるためにも、読書は非常に重要です。もし、自分が我慢することが苦手だなあと思っている人は、ぜひ読書に挑戦してください。君の将来のためにもなりますよ。

一日一日を大切にし、心を込めて読書に励みましょう。そして、新しい自分に出会うためにも、感動の心を育てましょう。そうなれば、あなたはきっと変わりますよ。

《特　選》

鷹巣中央保育園　6歳　三　澤　香　花

やっぱり さかなは おいしいなあ

書　名　11ぴきのねこ

著者名　馬場　のぼる

鷹巣東保育園　6歳　斉　藤　夢　望

おなべのおゆ だいじょうぶかな

書　名　まゆとおに　やまんばむすめ まゆのはなし

著者名　富安　陽子

《特　選》

ほっほっほ～、みんなよかったのう

書　名　へんしんプレゼント

著者名　あきやま　ただし

鷹巣東小学校　１年　長　岐　　喬

フラミンゴとあそんだよ

書　名　ひとあし　ひとあし

著者名　レオ＝レオニ

合川西小学校　１年　平　川　晴　菜

《特　選》

雪ばとのほしかったプレゼント

書　名　世界一すてきなおくりもの

著者名　薫　くみこ

綴子小学校　２年　佐　藤　　裕

ながれ星の中の100かいだての家

書　名　100かいだての家

著者名　いわい　としお

合川東小学校　２年　後　藤　　叶

《入　選》

つよいぞ！ フックせんちょう

鷹巣中央保育園
5歳　長　岐　　和

どんな おにも こわくないぞ

たかのす幼稚園
5歳　佐　藤　　響

じごくのおふろはあったかいねぇ

あいかわ保育園
6歳　福　田　真　姫

みんな やったね！ ねずみくんが王様だ

七日市保育園
6歳　九　嶋　莉　那

ゆうきのひをみたよ

前田保育園
6歳　奥　山　葉　太

すごいぞ！ ぱんぷくん

鷹巣中央保育園
5歳　谷　藤　楓　馬

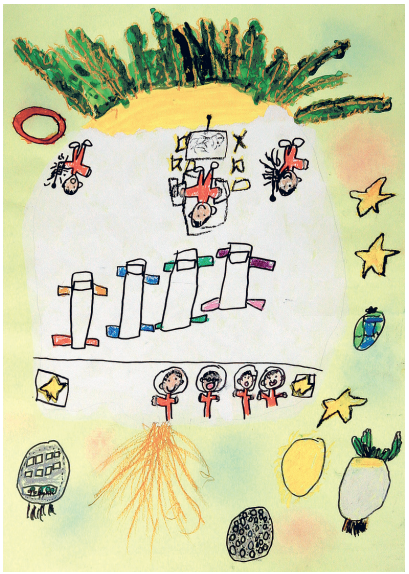
《入　選》

お母さん、お月さまはどれくらいとおいの

鷹巣小学校
１年　さとう　かなみ

おこっている りゅう

米内沢小学校
１年　武　石　考　世



かぶスーパーロケットで、うちゅうへゴー！

合川東小学校
１年　新田　リチャード

空とぶくじらは、力つきた

鷹巣小学校
１年　大しま　あさみ

お月さまは どれくらいとおいの

鷹巣小学校
１年　三さわ　そうき

サバイが２ひきいるといいな

鷹巣小学校
１年　さえき　いつき

《入　選》

わあ、サメだ

鷹巣小学校
２年　魚　住　隆　人

まっかにもえるまち

大阿仁小学校
２年　しば田　び　ん

ポンポン 楽しそう

鷹巣中央小学校
２年　中　嶋　　杏

ふしぎな木でとんだよ

合川南小学校
２年　三　浦　有　斗

なきおばけたちと モモちゃん

鷹巣中央小学校
２年　芳　賀　彩　那

にじいろのさかなと 海のダンスパーティー

阿仁合小学校
２年　加賀谷　愛　依

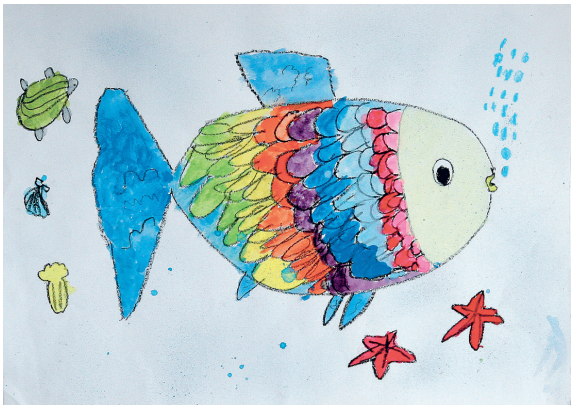
《佳　作》

おりょうりをして みんなでかぶをたべましょう

鷹巣東保育園
6歳　田　村　れ　な

じんどんきのおなかはおもしろい

あいかわ保育園
6歳　金　田　魁　斗



にじいろのさかなになって
うみのなかを さんぽしたいな

綴子保育園
6歳　柏　木　芽　奈

はりのやまでもだいじょうぶ

あいかわ保育園
6歳　松　岡　　譲

いっすんぼうしは つよいな

たかのす幼稚園
5歳　奥　山　愛　理

ばんざ～い！ おおきなかぶが ぬけました

米内沢保育園
5歳　佐　藤　那　奈

《佳　作》

おにさん こちら！

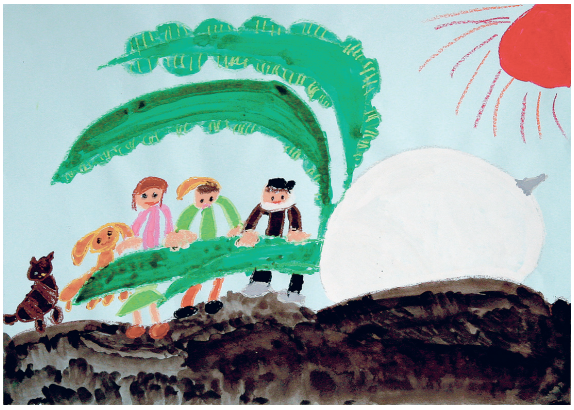
鷹巣中央保育園
6歳　長牛紅葉

てぶくろのなか あったかいね

鷹巣東保育園
6歳　村　上　なぎさ

たべものが いっぱいでびっくり

綴子保育園
6歳　松　山　真　菜



みんなで かぶをぬこう

南鷹巣保育園
6歳　宮　野　里　月

うれしいなみだをながすりゅう

鷹巣西小学校
1年　髙　坂　冴　来

いいてんきだね きもちいいね

認定こども園しゃろーむ
6歳　平　野　那　知

《 佳　作 》

ぼくもティラノサウルスに ごちそうしたよ

合川北小学校
１年　河　田　健　登

くじらは 空をめざしたよ

鷹巣小学校
１年　にしね　いぶき

町へむかって さあいくぞ！

鷹巣西小学校
１年　片　山　優　希

うたっているおばけちゃん

鷹巣小学校
１年　さとう　あいな

おくりものがきてよかったね

綴子小学校
１年　三　沢　駿　介

いいな いいな このおうち

大阿仁小学校
１年　舘　岡　颯　来

《 佳　作 》

おれはねこだ、さかなをたべるぞ

鷹巣小学校
１年　はたけ山　そうた

ながれぼし 見つけた

鷹巣東小学校
１年　大　山　美　柚

みんな いっしょだよ

鷹巣南小学校
１年　長　岐　光　瑠

きょうりゅうと あそんだよ

阿仁合小学校
１年　湊　　彩　音

ざりがにくん、けんかしようか

鷹巣小学校
１年　にしじま　せな

マヤイ がんばれ

鷹巣南小学校
１年　堀　内　美　羽

《佳　作》

船になったりゅう

鷹巣西小学校
２年　津　谷　一　梓

べろべろ ばあー

鷹巣西小学校
２年　長　崎　すみれ

ふしぎなキャンディー、ぼくにもください

鷹巣西小学校
２年　上　野　陽　登

ゆめの国のおかしの家

鷹巣小学校
２年　工　藤　　凜

こん虫の王さまの100かいだての家

合川東小学校
２年　福　田　舜太郎

あまえていたいよ、お母さん

浦田小学校
２年　神　成　風　太

《佳　作》

ぼくはだれのぶぶんなの？

綴子小学校
２年　近　藤　春　樹

キャンプ 楽しいね

鷹巣中央小学校
２年　藤　本　安佳里

たすけて

鷹巣東小学校
２年　佐　藤　晃太朗

楽しいおばけの町

鷹巣西小学校
２年　岩　本　瑠　衣

木の上の楽しいおうち

鷹巣南小学校
２年　千　葉　駿　太

ちからたろう

米内沢小学校
２年　九　島　一　輝

読 書 感 想 画 講 評

今回このコンクールで受賞された皆さんおめでとうございます。みなさんの作品は読書して受けたイメージや感動をエネルギーにし、これを楽しみながら、画面いっぱいにのびのびと描いていてとても感動しました。一生懸命頑張った子どもたち、指導された先生方に感謝申し上げます。

審査の観点は、前回と同じく４点にしました。１つ目は、子どもが読書をして受けた感動を素直に表現しているか、２つ目は、表現したいもの（主題）に向かって思いっきり表そうとしているか、３つ目は、マーブリングやスクラッチ、コラージュ等の表現技法が工夫されているか、４つ目は色彩は明るく斬新で豊かに表現され構図も工夫されているかでした。

審査して感じたことは、例年のように色画用紙を活用した作品が多く見られましたが、今年は色画用紙の地の色ばかりではなく、その上に濃い絵の具で重色し、背景としての全体の色調をより複雑で効果的に生かした作品が見られたことです。さらに、違う色画用紙を対比させたり、近い色同士でまとめたりするなど、色画用紙の活用の仕方に工夫が見られました。また、今までのように、形を薄い鉛筆で弱々しく描くのではなく、黒の他、様々な色のクレヨンで力強く、堂々と描き、その上にいろいろな原色の水彩で着色した、強く新鮮な作品が増えてきたことです。

昨年夏、北秋田市教育センター主催の図工の実技研修会が、先生達 40 人以上が参加して初めて開催されました。今回の作品にはこの時学んだ、いろいろな技法がたくさん登場しました。

たとえば、クレヨンが水彩絵の具をはじく効果を生かしたバチックはたくさんの作品に活用され、線による表現が大変新鮮で、スピード感にあふれ、美しい色彩に仕上がり、感動的な作品がたくさん誕生するきっかけになりました。また、布や紙、糸や段ボール、網など、いろいろな材料をハサミで切り、全体の構図やバランスを考えて画面に貼るコラージュ技法はたくさんの作品に見られ、中でもプリントした布や綿を大変効果的に生かした作品は目を引きました。

その他、下地にローラーを使い、その上に蛍光色を使って新鮮で印象的に着色した形を、画面全体のバランスを考えて貼り付けた作品も見られました。また、絵の具をシャボン玉に溶かし、ストローで画面に吹いたシャボン玉技法など、様々なモダンテクニックの新しい技法を使った作品が昨年以上に多く見られた事です。これからも、どんどん新しい表現方法に挑戦し、工夫し、今までにない作品も作って行ってほしいと思います。

ただ、最近の作品に多く見られる傾向として、作品に登場させる様々な形を事前にはさみで切っておき、今までのように描く前に真剣に画面全体で大まかな構図や動きなどを考えてから描き始めるのではなく、事前に切り取っておいたパーツのような形を、安易にうまく画面上に並べて貼り付ける…と言う方法が多くなったことです。これは、指導方法としては大変楽で、構図上の失敗は回避できますが、最初に表現する時のパッションや感動、明確なイメージ、画面構成力、本質に迫る創造力や制作の際のドラマが小さくなり、マイナスにもなります。

未来に生きる子ども達のための表現活動とは、単にその時、全くの偶然や強制的な指導法により、1 枚のうまい絵や良い作品が誕生すれば良い・・というものではありません。もっと長いスパンで、大きく、深く、そして豊かに指導してくださることをお願い致します。

また、画面に登場する形が中央に小さくまとまった作品が少なからず見られたことです。これは、作品の下に、机や床が汚れても良いような画板や新聞紙、台紙等を敷き、画面から形が大きくはみ出しても良いようにする配慮が足りなかったためです。子どもたちにもっと伸び伸びと描かせるようにして欲しいと思います。ちょっとした配慮で作品は大きく変わるものです。

読書感想画ですので家族で本を読み、読書後の感想や絵にしたい場面などを親子で会話しながら作品づくりをすることも楽しんでいただければと思いました。

では、特選になった作品を紹介致します。

幼稚園・保育園（年長児）の部

鷹巣中央保育園　　三　澤　香　花

題　名　「やっぱり　さかなは　おいしいなあ」

書　名　「11 ぴきのねこ」

・評「青、黄、紫、黒など、色彩が大変多彩で美しく、構図もおもしろく独創的です。お日様や大きな魚の骨、11 ぴきの猫たちが画面いっぱいに伸び伸びと楽しく描かれ、夜空に輝く黄色いクレヨンで描かれた星が水彩絵具をはじき美しく効果的です。」

幼稚園・保育園（年長児）の部

鷹巣東保育園　　斉　藤　夢　望

題　名「おなべのおゆ　だいじょうぶかな」

書　名「まゆとおに　　やまんばむすめ　まゆのはなし」

・評「ダイナミックな画面いっぱいの鬼の動きが大変素晴らしく、青い原色を使った鬼の色も新鮮で美しいです。鬼の下の黄色い少女や、周囲の不思議な形などの組合せや全体的な色彩が、素敵に描かれています。」

小学校 1 年の部

鷹巣東小学校　　長　岐　　喬

題　名「ほっほっほ〜、みんなよかったのう」

書　名「へんしんプレゼント」

・評「薄紫で複雑に塗られた背景が大変美しく、全体の雰囲気を作り出しています。これを背景に大胆に真っ白く描かれた雪が大変変化を与え、新鮮で印象的です。更に、画面中央を左から右へ走り去ろうとする真っ赤なサンタクロースが、赤と白の対比の美しさと動きを与え効果的です。」

小学校 1 年の部

合川西小学校　　平　川　晴　菜

題　名「フラミンゴとあそんだよ」

書　名「ひとあし　ひとあし」

・評「大胆にも対象に大きく迫った構図が素晴らしいです。暗くローラーや曲線で複雑に表した背景に、画面に貼り付けたピンクのフラミンゴの首の動きと顔の表現が大変感動的で心を惹きつけます。右に描かれた少女の表情もとてもやさしく描けています。」

小学校 2 年の部

綴子小学校　　佐　藤　　裕

題　名「雪ばとのほしかったプレゼント」

書　名「世界一すてきなおくりもの」

・評「綿や布などを貼り付けたコラージュ技法で表現しています。プリント模様も活かして画面全体を緑でまとめ、青を使って鳥を立体的に描きました。そして、何と言っても、手前の地面を薄紫と水色の曲線で描き、その上に綿を効果的に使ってファンタジックに表現した点が大変感動的です。」

小学校 2 年の部

合川東小学校　　後　藤　　叶

題　名「ながれ星の中の 100 かいだての家」

書　名「100 かいだてのいえ」

・評「水色のカラー画用紙を効果的に使い、星の世界が画面全体に輝き、色彩が新鮮でとても美しい作品です。全体の構図も大変工夫され、下の風景を単純化して建物を強調し、部屋の中にたくさんのものを詰め込んで下から上へ上へと夜空に向かって力強くそびえています。」

元大館北秋田造形教育研究会会長　　和　田　克　郎

秋田県造形教育研究会副会長　　佐々木　久　隆

☆　小学生の部〈特　選〉

やまんばばあさんみたいになりたいな

合川北小学校　三年　土　田　楓　子

やまんばばあさんってすごい人だ。

車よりも足が速い。だって、村の人が病気でたおれたときに、車よりも速いスピードで病院につれて行った。やさしいね。わたしもクラスで一番になることがあるけど、そんなに速かったら心ぱいしなくても、運動会ではゆうしょうできる。それに、スキー大会だって、ぜったいにほかの学校の人に負けないと思う。うらやましいな。やまんばばあさん、わたしだけに走り方教えてくれないかな。

やまんばばあさんは、こもりがじょうず。カラスの赤ちゃんをへびから助けた。わたしは、へびがきらいだから、つかまえるなんてとてもできないな。カラスの赤ちゃんを助けてあげられないかもしれない。やまんばばあさんは、赤ちゃんをしっかり守ったね。こわくても、赤ちゃんが大事だから、へびをたいじしたんだね。さすがだな。

やまんばばあさんは、りょうりを作るのがじょうず。遊びに来た友だちのおもてなしのために、魚のにつけも、つけものも、なべもぜんぶおいしく作る。わたしも、お母さんの仕事がいそがしいとき、おにぎりとかホットケーキやたまごを使ったりょうりは作るけど、つけものはつけれないし、魚のにつけも作れない。きっとやまんばばあさんのりょうりはおいしんだろうな。

でもね、わたしのおばあちゃんもりょうりを作るのがうまいんだよ。家では、「あやしいもの」とおばあちゃんが言って作ってくれるのが、すごくおいしんだ。それに、お母さんがふだん作らない、いろいろなりょうりをパッパッと作ってくれる。おばあちゃんがいるときは、いつもすごくごうかな食事になる。

おばあちゃんは、秋田市から電車で二時間もかかるのに、一週間交代で秋田市とわたしの家とを行ったり来たりしている。ものすごくはたらき者で、年をとっているのに、わたしの家の畑仕事も速いスピードでやってくれる。家の中では、ちゃわんをあらったり、せんたくをほしたりして、次から次へと仕事をするから、とってもたすかっている。

なんだかやまんばばあさんとうちのおばあちゃんは、とてもにているところがあるんだね。わたしがやまんばばあさんとおばあちゃんが一番にているなと思ったところは、いつもだれかのためにいっしょうけんめいはたらいているところだよ。だから、車よりも速いスピードで走れるし、とくべつにおいしい物も作れるし、家の仕事も、もうスピードでかたづけるし、きけんな目にあっても大事な子供を守ったりしてがんばれるんだよね。

わたしも、やまんばばあさんやおばあちゃんみたいに何でもできる人になりたいな。そのひみつは、きっと、だれかのことを思ってはたらくっていうことじゃないかな。わたしも、友だちや家族のことを大切に思って、何でもできる人になれるようにがんばるよ。

〈講　評〉

とても楽しくて夢いっぱいの本と出会いましたね。

すごいパワーの持ち主、やまんばばあさん。やまんばばあさんのパワーは、「だれかのために働くこと」と気づくことができた楓子さんもすごいですね。富安陽子の他の本も読んでみてください。

仲間の大切さとは

前田小学校　四年　岸　野　菜々子

シュパッ。

バスケットのボールがリングをくぐる音。私の学校は、三年生から部活動が始まります。入れる部活動が少ないので、女の子のほとんどはミニバス部に入ります。私は、このシュパッ、という音が気持ちよくて好きです。だけど、小さくて目が悪い私には、この音をなかなか出すことができません。仲間の出してくれる音が楽しみで、毎日部活に行っています。

主人公のケイイチは、バスケットのゲームで遊んでいるうちに、本当のバスケットがやりたくなり、工事中のグラウンドにある、一本だけのバスケットゴールで遊び始めたことが、バスケットをやるきっかけでした。練習をしてシュートが入るようになり、仲間が集まり始め、男子のミニバス部が誕生しました。その時、足の不自由なケイという転校生がやってきました。

ケイイチは、ケイの体のことが気になり、遊びにさそうことができません。ケイは、ケイイチ達が楽しそうにバスケットをするのを見ていました。そして、シュート練習を始めます。それを知ったケイイチは、ケイをミニバス部にさそいました。走ることのできないケイは入部しました。他の人達は、ケイをじゃまものと思っていました。それを変えたのは「男女合同シュート大会」です。練習をがんばったケイが三位になったからです。みんながやっとチームの仲間としてみとめてくれたようでした。そして、大会の決勝戦。最後の最後でケイがコートに立ち、ケイのフリースローで勝ちました。ケイやチームメイトでも、ずっとシュート練習をがんばってきて本当に良かったと思いました。

私がミニバスをやっているわけを考えました。いっしょにが

んばれる友達がいて、苦しいことがあっても助けてくれる仲間がいるからだと、この本を読んであらためて思いました。バスケットは、チームプレーを大事にする競技です。チームワークを必要とするので、自分のことばかり考えず、他の人のことを思いやる気持ちをわすれてはいけません。キャプテンであったケイイチは、こんな気持ちだったでしょう。私は、今の仲間を大切にしていきたいと強く思いました。そして、私はケイとはちがい走ることができます。でも、シュートは上手ではありません。この本の中にでてきたバスケットの神様が言いました。

「自分だけのチャンスを持って、それを活かせ。」

自分だけのチャンスを作るためには、これだけは自信があるというプレーを身につけなければいけません。その一つとして、ケイと同じように少しでも多くのシュートが、かく実に入るように練習をがんばろうと思います。シュパッ、という音が、私もたくさん出せるようにあきらめません。

〈講　評〉

日々取り組んでいる部活動と重ね合わせながら、熱心に読み進めたことが伝わってきました。

ケイイチやケイの心情に寄り添ったことは、ミニバスを続けている今の自分を振り返るよい機会になりましたね。

仲間への思い、練習への思いを新たにし、これから目標に向かって頑張っていこうとする強い意志が感じられました。

自分らしく生きること

鷹巣南小学校　五年　堀部綾乃

主人公の吾一が、決してよいとはいえない環境で育ちながらも、自分らしさを見つけていくところに、私は心を動かされました。

吾一の父は、自分が起こした訴訟事件に吾一の貯金を使ってしまう人、母は体が弱いながらも内職で家計を支えている人です。幸せな家庭環境とは言えません。ずっと中学校に行きたいと思っていたのに、吾一は母のことを思い、進学をあきらめて働くことを決意します。家の事情で中学校に行けないことを友達からからかわれる吾一。まだ十二才の吾一が家のために働きに出るなんて、私は涙が出そうになりました。今の日本は法律により、中学校まで進学することが義務として定められています。吾一を思うと、現代の私たちは当たり前のように学校に行ける、恵まれた環境に育っているのだと強く感じました。

また、吾一の就職先は友達の秋太郎の店でした。次野先生に教えてもらった「この世に吾はひとりなり」という意味のほこりある名前の「吾一」が、「五助」に変えられてしまいます。また、先輩からのいじめ、親しかった秋太郎や妹のきくからの冷たい態度。吾一はどんどん追いつめられていきます。私はこんなこ

とがあってよいのか、と腹が立ちました。さらに、もともと体の弱かった母は無理をして、亡くなってしまいました。母のそう儀にも来ない父を吾一は情けなく思います。私は、両親がいない吾一は、これからどうやって生きていくんだろうと心配になりました。私には、大切な人を失った悲しみはまだ分かりませんが、その悲しみは計り知れないと思います。命の尊さと大切な物は、吾一のように失ってから初めて気付くのかもしれません。

しかし、吾一はそのままではいませんでした。それまで胸の中で温め続けてきた思い、「東京に行く」という固い決意を実行しようとしていたのです。父の借金があって母だけを残して行くことはできなかったが、母を失った今こそその時期が来たと考えたのです。東京に行けば自分にしかできないことがあるのではないか、という吾一の動かされない決意を、私はとてもかっこいいと思いました。

私は、学校の統合で、今までの十倍の人数で学校生活を過ごしています。大勢の中にいると周りに流されてしまい、私らしさがなくなっていくような気がしています。自分の意見をしっかりもち、何事にも積極的に取り組んでいきたいのになかなかできません。そんな私に、「路傍の石」という題は、「道ばたの石のように、同じような物がたくさんあっても、一つ一つちがう形で同じ物は二つとないように、自分はこの世で一人しかいない。だからこそ、自分にしかできないことをするのだ。」と、語ってくれた気がしました。

〈講　評〉

名作といわれる路傍の石を読んでくれたことをまず、うれしく思いました。今と違う社会情勢の中で成長していく吾一の生き方を読みとり、「かっこいい」と思ったことをよく表現できています。自分の生活と考えあわせながら大切なことに気づいた綾乃さんの気持ちが作品の結びに出ています。

プロへの一歩一歩

米内沢小学校　六年　神　成　大　夢

平成生まれのぼくは、野村克也さんの現役時代を知りません。名捕手、三かん王をとった強打者だったと言われても実感できません。ただ、かんとくとしてのすごさは、楽天をクライマッ

クスシリーズに導いたことからもわかっていますし、それ以前にも弱かったチームを率いては優勝するということがあったことをこの本で知りました。

ぼくは野球が好きで、四年生から野球にうちこんできました。これまでに野球に関係する本をたくさん読んできました。これからも野球を続けるつもりで、目標はもちろんプロ野球選手です。

五年生の秋から自分たちが主力のチームになりました。背の高いぼくのポジションはファーストでしたが、本当はファーストは好きではなかったのです。ショートやサード、外野手をやりたかったのですが、自分の理想と現実には大きな差がありました。このことについては野村さんも、「野球がチームプレーである以上、自分の思うようになることはほとんどない。」と述べています。文句を言わず、チームのために自分を生かすことをこれからも考えてプレーしていこうと思います。

六年生の今年、ぼくたちは、地区優勝を果たし、目標としていた全県出場を果たしました。ふり返ると、チーム内のライバルの存在が、それぞれのレベルアップにつながったのだと思います。ぼくのライバルは、エースで三番を打っていた石田君です。ある大会で、ぼくも石田君もホームランを二本ずつ打ちました。バッティングや走塁ではいい勝負ができたと思いますが、守備力はぼくをはるかに上回っていました。さらに、彼は客観的に自分のプレーやチームのプレーを見ることができるので、データ野球で有名な野村さんのような存在になれるかもしれません。ぼくも冷静な判断力をもっと身に付けていきたいです。

この本の帯に、「リーダーで人と組織はこれほど変わる」と書かれていました。以前読んだ本にも、松坂投手が小・中・高でいいかんとくに出会ったから今の自分がいるというようなことを述べていました。プロになるほどの選手なので、自分の才能や努力が実を結んだのはまちがいないと思いますが、かんとくや周りで支えてくれた両親や地域のみなさんのおかげであることが両方の本に書かれていました。ぼくも、今のかんとくに出会ったおかげで野球が好きになり、努力を続けることができました。自分が野球のことを真剣に考え、まじめに努力してきたから、かんとくの言うことが理解でき、野球がますます好きになったという部分もあるかもしれません。「素直な選手は伸びる」かんとくも野村さんも言っています。いろいろな人のアドバイスを素直に吸収し、努力を続け、プロを目指してこれからもがんばっていきます。この本を読んで、プロにまた一歩近づけた気がします。

〈講　評〉

自分の心が成長すると、本が語りかけてくる言葉のもつ意味がより深く理解できるようになります。

野村監督の言葉と大夢さんの体験との交流が素直な文体で表現されていて、読む人を引きつける心地よい感想文でした。

さりげない引用も作品に深みを与えていますね。

☆　中学生の部〈特　選〉

幸せだらけの日常

合川中学校　二年　小　野　千賀子

「みなさんに明日が来ることは奇跡です。それを知っているだけで日常は幸せなことだらけであふれています。」

千恵さんはそう書き残しています。

乳がんと闘い、二十四歳の若さで長島千恵さんは亡くなりました。私たちが毎日普通に生活している時間は何とも思いませんが、本当はとても幸せでありがたいことなのです。千恵さんが言っていたように明日が来ることはすごいことでそう思うと日常は幸せなことだらけです。もしも明日に自分がいなければ、今生きているこの時間はとても幸せだと思うし、今やっていることも幸せだな、と思ってきます。私はあの言葉から千恵さんは毎日を大切に生きていたんだと思います。そして、生きている時間が幸せだったからそのような言葉を書き残したんだと思います。

千恵さんは「余命一ヶ月」と言われてから三十七日間頑張りました。その三十七日間千恵さんを支えた人たちもすごいと思いました。

千恵さんは死ぬ前にウェディングドレスを着てみたいと言い、そのためにいろいろな人が協力したのがとても感動しました。千恵さんの彼氏の太郎さんと友人の桃子さんは、なるべく早く着させてあげるためにたくさんの結婚式場に電話をかけ、やっとウェディングドレスを着させてあげれることになりました。太郎さんはサプライズで写真をとるだけでなく結婚式をあげることにしていました。余命一ヶ月と言われていて、これから一緒に暮らしていけないかもしれないのに結婚することはとても勇気がいると思いました。そして、何よりも太郎さんはすごく千恵さんのことを愛していたんだな、と思いました。千恵さんは絶対に嬉しかったと思います。私もみなさんも人の支えがなければ生きてはいけません。千恵さんも桃子さんや太郎さん、他にもいろいろな人の支えがあったから病気にも前向きに頑張れたんだと思います。私もいつも周りにいて支えてくれている家族、友だち、たくさんの人たちに感謝をし、私もいろいろな人に感謝される人になりたいです。

もし、自分が病気で後一ケ月の命だったらと思うと私はとても怖いです。みなさんもそう思うと思います。いつもなら長く感じる一ケ月が短くてどんどん過ぎていく時間がもったいなくとても大切に思えてくるでしょう。千恵さんは亡くなる最後まで自分の病気を治そうと闘いました。がんはいろいろな所に転移していて、私がこの本を読んでもがんの怖さ、そして痛さがとても伝わってきました。その怖さ、痛さを直接体験したことはないけれど、相当辛かったと思います。千恵さんはすごい心

の強い持ち主だと思いました。

千恵さんはお母さんも乳がんで亡くしていました。その時、千恵さんは中学三年生。私は今、中学二年生です。千恵さんは毎日、学校へ行き部活から帰って来て家では炊事洗濯などをやり、さらに勉強、ピアノなどの習い事。今、部活と勉強の両立を目標にしている私にとって毎日お母さんがやってくれていることまで全てやるなんて私にはとてもできません。私はこの本を読み、千恵さんをすごく尊敬しました。

私はこの本を読んで二つ思ったことがあります。一つは命の大切さです。私はいつも思うことがあります。千恵さんのように病気で生きたくても生きられない人たちがいるのに自分で命を絶つ人がたくさんいます。一つしかない尊い命をどうしてそんな粗末にするのか。私たちはとても小さな確率で生まれここに居ることは奇跡なのです。千恵さんは生きているという幸せ、明日が来る幸せを教えてくれました。これからの人生の中で何があるか分かりませんが「命」がある限り毎日の人生を大切に生きたいと思いました。

もう一つは、誰かに支えられて生きているということです。千恵さんもたくさんの人に支えられていたから病気に前向きに立ち向かえたんだと私は思います。友人や家族は私にとっていなければならない存在です。きっといろいろな面で助け合って支え合って生きているからだと思います。これからも友だちや家族を大切にして感謝して生きたいと思います。

「明日が来ることは奇跡。」千恵さんが書き残した言葉を忘れずに日々を生きていきたいと思います。

〈講　評〉

「命」という重みのあるテーマについて、自分の身に置き換えながら深く考えることができました。これからも「周囲の人々の支え」への感謝を持ち続けてください。

リラックスしている友達

鷹巣中央小学校
6年　吉　田　慎一郎

☆　高校・一般の部〈特　選〉

私にとっての『それでも農は命綱』

七日市　佐藤利子

『それでも農は命綱』この本は、〝百年に一度の大凶作〟といわれた、平成五年のあとに書かれた本です。

あの年、長雨と低温のため稲は受粉できず、その後の天候も不順だった為、私達農家は天を仰ぎ、晴れる日をひたすら祈った…。

そしてコメが消え、消費者が行列を作って国産米を買い溜めたことによるコメ騒動。そして輸入米来襲フィーバーの顚末…。

私は生れて初めて食べたタイ米の〝あのなんとも言えない感覚〟それを生涯忘れまいと思って、本棚に飾ってありました。

今回また読み直した訳は、めまぐるしく変わる状勢の中で、自分にとって〝農のあり方を、いま一度見つめ直す〟時期ではないかと思ったからでした。

私は三十三年間農業を営んできました。ですから作者の山下惣一氏と同様に、稲は私にとっての源流であって、それ以上に著者はある理由から、尊敬以上の存在の方でした。

その山下氏が、ミカン農家としての専業路線を変更せざるを得なかった戦後農政。

そして平成五年版『農業白書』の概要を伝えた、当時の新聞のタイトルが、〝輸入と備蓄で安定供給〟となっていた事。コメから自給という文字が、はじめて消えたという驚きはその当時の農家にとって大きいものでした。

それにも拘らずこの本では自給の必要性を説き、戦後農政を支えて来た陰にイエと女性史がある事の意味をも語った。更に渡米し輸入果汁の現場を見て、〝山下家の農業は立ちゆかなくなる〟と決めるまでの訳を語る、ありのままの言葉に、私も助けられました。

それは平成七年の事。父が発病し原因不明の症状だった為、看病していた母までが体を壊して入院と、家族がバラバラになりそうな時期がありました。本当にその時は自分達の家業である農業の将来が〝見えない〟状態でした。頑丈だった父の病気は、難病とよばれるものだったのです。

「なぜ父が、この病気にかかってしまったのか。あの時もっと注意をしていれば―。」と思ってみても現実から逃れる事はできず、田んぼや畑へ行ってもその悔やむ思いは消えませんでした。

夕暮れ時、鳥達さえ巣に戻る時間になっても、家に帰る気持ちになれず赤く沈む太陽を見て〝私の代で農業を終わりにするのか〟と思う気持ちは、山下氏の苦汁の決断に近いものがありました。ところが、あのタイ米を家族で食べた感覚が、よみ返ったのです。〝農業は、命を守る大切な仕事なのに…。〟という想いで、何度も何度も読み続けました。

そして私は、父亡きあとの農業を、続ける原動力となる言葉を頂いたのです。（それからの六年間は、書く事をやめました。）

『自分を救うのは自分であり、自分たちを救えるのは自分たちである』という当たり前の自覚に立つ事だ。という言葉に支えられた私にとって、頼りになったのは自分と家族だったのです。幸いにも我が家には団らんの場がありました。そこで話し合い、明るい家族農業を目指すという意欲が私を動かしました。〝どんなに科学が進歩しても、コメ一粒・葉っぱ一枚作れない人間は、食べ物なしでは生きられないという現実〟それを肌で感じながら素直な気持ちで、自然に感謝しながら今まで米と野菜を栽培し出荷してきました。

すると、「この想いを書きたい」と思うようになった自分が、自分をつき動かしていました。心の目で、再びこの本を読んだ処、十五年前の暗さとは違うことが解ってきました。

『選択的拡大で自給を放棄した昭和三十六年』

～その当時に放棄された麦・大豆等が、今や自給率向上の目玉となっている～

『追いうちをかけた一家団らんの消滅』

～かつて個食・今は不況で食事を満足に取れない人もいる。安全と本物を求める消費者～

『転機を迎えた家族農業』

～専業農家ほど苦しい現状と、法人化の展望そして経済繁栄の果てに待つものは何か～

私は「それでは農業はどうなるのか」と問いかけました。そうすると、

―人間は、自然を傷つけたり搾取したりしてはならない。そうする事は命の基盤を破壊する事だ―

それは世界共通の人類史の教訓なのである。という答を返してくれました。

今、山下氏は「孫達へ、おじいちゃんの食と農の話」等々、世代間をつなぐ伝承者として、ご活躍されています。

かたや私は、ただ家族と楽しい農業を目指して来ただけでした。勿論天候や市場原理で泣かされる事もありますが、〝それでも農は命綱〟の心を、育む事が出来ました。

何よりも書く事を止めていた自分に再び〝書こう〟という気持ちを呼び戻してくれたこの本と山下惣一氏に、感謝致します。

〈講　評〉

ご自身の体験と重ね合わせて書かれており、「農」はまさに私たちを支える命綱であるということが読み手に強く伝わってきます。

同じ本を年月を経て読むことで新たな発見ができるということは、子どもたちにもぜひ伝えていきたいですね。

重い遺言〝日本の子どもたちへ〟

綴子　三澤昭彦

民話の知恵を探ろうか。と、図書館の子ども書架を廻る。小型文庫が、かくれんぼのようだが目に止まる。「日本にも戦争があった―②」だ。変だ、あ、子どもの頭では、日本に戦争が無いんだ。

見ると中学生を対象にしている。戦争は六十年も遠い昔だから、今や大人だって八十％は「戦争を知らない子ども」なんだ。

「三光作戦を知っていますか」とある。私は予科練の生き残りだから、日本軍が中国の村を襲った残虐行為だとわかっていた。語り継ぐ戦争では、たいてい被害者として空襲や引揚げの場面だが、これは、重大な加害者体験・読む程に体ごと引き込まれ、私は無知と思わせられた。中国の村人が三光作戦と名づけて恐れたのは、日本軍が八路軍掃討作戦と称し村々で行った残虐行為だった。

体験を風化させるな。と言われても、なかなか戦後数十年を経てようやく語る気になったと聞くとおり、真実を語る重さや責任を伴うからだ。坂倉さんは、恥をさらし責任や犯罪にかかわる事実を微に入り細にわたり語り切るのである。

中国の村人は、いつ襲ってくるかと日本兵を恐れ憎み「日本鬼子」と呼んでいた。中国人の身になっても見よ。日本の鬼どもは、まっ赤な口を耳までさけきり、するどい牙は、中国人の首をくだき、むすり取りガリガリ喰らう。まさに地獄の鬼と見えたことでしょう。

それを日本軍の隊長、命令で動く兵士たち恐怖の中必死に抵抗する老人女子どもを語り尽しているのである。

さて、「三光作戦」とは、と、中学生に良くわかる文となっている。すなわち

一、村人を殺しつくしてしまう。

一、村の家などすべて焼きつくしてしまう。

一、村の穀物家畜など食料を奪いつくす。

とても、人の皮をかぶっているとは、思われないやり方である。

八路軍がひそんでいると見られた村は、日本軍隊の宿営地にされ、大量に必要な食料は現地調達と命令され、取らないでと泣き叫ぶ女たちをなぐり倒し、すべて略奪食い尽くすのであった。

坂倉さんと高柳さんは、この軍隊用語・戦時のことば、歴史的語句などに、中学生にも理解し易く配慮し、たくさんの註釈をつけ、この本そのものが、「戦争早わかり辞典」といっていいくらいである。

場面は、多様な襲撃をあらわしているが、払暁攻撃をみると、空が白みかける頃「突っ込め」の命令、各家々の戸をたたきこわし、捜索する。物かげから銃声、一兵士負傷す。怒った隊長が叫ぶ「八路だ探せ」「村中の者、全員集めろ村長を逃がすな」

広場に集合させ「村長をしばれ」「八路は、どこだ」「隠れ場所を言え」「言わないと殺す」しかしだれも知らないという。隊長殺せの合図、岩佐一等銃殺用意「バーン」村長の頭がガクンくだけた頭蓋骨がボトンと落ちる。村人抗議の声銃を突きつけられ泣き叫ぶばかりだ。いとも簡単に人の命が奪われ背すじも氷る。隊長が「火をつけろ」と叫び村を燃やし尽くしたのだ。

坂倉、高柳両氏は、このすさまじい「極悪非道」の真実を余さず告白したのだ。それまで自分の罪を認めず「朕が命令は上官の命令だから絶対、だから従うのは、当然であり、罪はない。」と弁解したが戦争犯罪人に指定され管理所に収容された。「この下っぱの兵士が、何で戦犯なものか」と、ふんまんやる方なしだった。ところが、この収容所は、食べ物十分、強制労働なし、自主サークルの奨励、世界情勢、歴史などの学習をすすめられ、更に八路軍の軍規律を説明されて驚いてしまった。その一、兵士を何より尊重する。二、大衆を尊重する。三、捕虜を尊重する。なんと、日本軍のやり方とは、全く正反対の教えで鍛えられていたのだ。収容所の待遇が格別だったわけを納得したのだった。収容所の係官から「三光に襲われた中国人の苦しみ恨み家族の悲しみを、考えたことがあるか。どうか勇気を振り絞って自分の行為に責任をもち人間にもどってほしい。」と説得され、罪を告白し謝罪したのだった。坂倉氏は、なぜ日本兵は鬼になってしまったかを考え分析しています。

それは、子どもの頃からの軍国主義教育にはじまり生きた神である天皇をいただく民族優越論で中国人蔑視をし殺してもかまわないと思わせたのだ。兵役の義務で天皇のため国のため命を捨てることが最高の栄誉とされ朕が命令の強制が、兵士を金しばりにしたからだった。お二人の呼吸がピタリと合い真実が見事に浮かぶ。読む程に、深く、汲めどもつきせぬ、人間の生き方というものが、次々と湧いてくる不思議な語りであると感動を受けました。坂倉氏が力を込めて「子ども達よ、どうか私の遺言を受けてください。」と、子どもも大人も本を読みこの継承に力をと願います。

〈講　評〉

戦後六十年以上経ち、戦争の記憶の風化、世代間の隔たりを危惧する声が高まる中、「伝えなければならない」という三澤さんの強い意志が感じられる書評であった。

考えごとをしている 友だち
鷹巣小学校
2年　はたけ山　みのり

平成二十一年度　北秋田市読書感想文コンクール入賞者一覧

小学校　三年生　特選　やまんばばあさんみたいになりたいな……土田楓子（合川北小学校）
入選　「松井秀喜」を読んで……金　勇斗（米内沢小学校）
入選　わたしも「しっぱいにかんぱい」……佐藤千笑（合川東小学校）
入選　森は見守っているよ……池田小春（合川北小学校）
佳作　わたしも負けないよ……神成恭花（浦田小学校）
佳作　出会いのふしぎ……久住　栞（浦田小学校）
佳作　ずいとん先生と化けの玉を読んで……松浦大輔（前田小学校）
佳作　「サイテーなあいつ」を読んで……石田健剛（鷹巣小学校）
佳作　ひとみの中の見えない力……鍋倉　舞（鷹巣東小学校）
佳作　よう子ちゃんに教えられたこと……佐藤　雅（鷹巣南小学校）

四年生　特選　仲間の大切さとは……岸野菜々子（前田小学校）
入選　「思いやり」の大切さ……菊地咲希（合川北小学校）
入選　心があるということは・・・……金田夏姫（綴子小学校）
入選　「だいじょうぶ　だいじょうぶ」を読んで……佐藤宏樹（綴子小学校）
佳作　自分の力を信じて……木村駿太（米内沢小学校）
佳作　理想の両親をつくるためには・・・……三浦千夏（前田小学校）
佳作　「ごめんね　ともだち」を読んで……保坂虹湖（綴子小学校）
佳作　あやまることの大切さ……沢田玲奈（綴子小学校）

佳作　夢に向かって　……小畑　ひかり（鷹巣小学校）
佳作　ナマハゲのくる村を読んで　……柳谷　朋典（鷹巣東小学校）

五年生
特選　自分らしく生きること　……堀部　綾乃（鷹巣南小学校）
入選　安全な世界を作るために　……佐藤　美侑（阿仁合小学校）
入選　意志を貫く強さ　……工藤　晃大朗（合川北小学校）
入選　本当の美しさ　……佐藤　真凜（鷹巣小学校）
佳作　「ぼくらが作ったいじめの映画」を読んで　……田中　和輝（合川南小学校）
佳作　「マタギに育てられたクマ」を読んで　……松橋　郁未（合川南小学校）
佳作　夢に向かって　……三澤　瑚子（綴子小学校）
佳作　「グローバル化とわたしたち」を読んで　……間嶋　希帆（鷹巣中央小学校）
佳作　キャプテンのつらさを感じて　……成田　菜生（鷹巣南小学校）
佳作　友達は大切　……若狭　玲那（鷹巣南小学校）

六年生
特選　プロへの一歩一歩　……神成　大夢（米内沢小学校）
入選　生きることのすばらしさ　……土濃塚　世奈（合川南小学校）
入選　「ヨハネスブルクへの旅」を読んで　……保坂　名菜（綴子小学校）
入選　「ダメ犬グー」を読んで　……小坂　悠華（鷹巣東小学校）
佳作　家族の絆と正義の心　……金　まどか（米内沢小学校）
佳作　支え合って生きる世の中へ　……武田　麻未（米内沢小学校）
佳作　差別のない社会をめざして　……奥山　由佳（浦田小学校）
佳作　「シュヴァイツァー」を読んで　……菅原　悟（綴子小学校）

佳作　「ぼくを探しに」を読んで　……　成田　舞香（鷹巣小学校）
佳作　夢と目標に向かって　……　津谷　雄貴（鷹巣小学校）

中学校　一年生　佳作　「CHANGE ～チェンジ～」を読んで　……　播磨　加朋（森吉中学校）
佳作　アバターを読んで　……　奈良　祐香（森吉中学校）

二年生　特選　幸せだらけの日常　……　小野　千賀子（合川中学校）
入選　たくさんの考えをもつこと　……　梅田　春菜（合川中学校）
入選　信じ続ける　……　森岡　南海（合川中学校）
佳作　「太陽の子」を読んで　……　松岡　圭那（森吉中学校）
佳作　「青空のむこう」を読んで　……　武石　瑞希（森吉中学校）

三年生　佳作　「生きる」奇跡　……　伊東　璃緒（合川中学校）
佳作　心の変化　……　松岡　英里奈（合川中学校）

高校・一般　特選　私にとっての『それでも農は命綱』　……　佐藤　利子（七　日　市）
特選　重い遺言　〝日本の子どもたちへ〟　……　三澤　昭彦（綴　　子）
入選　『再生』を読んで思うこと　……　藤田　淳（材　木　町）
佳作　阿修羅像に導かれ　―阿修羅のごとくを読んで―　……　中嶋　美枝子（脇　　神）
佳作　橋物語を読んで思うこと　……　佐藤　勇助（木　戸　石）

平成二十一年度　北秋田市読書感想画コンクール入賞者一覧

幼稚園・保育園

特選　やっぱり さかなは おいしいなあ ……三澤香花（鷹巣中央保育園）
特選　おなべのおゆ だいじょうぶかな ……斉藤夢望（鷹巣東保育園）
入選　ゆうきの ひ をみたよ ……奥山葉太（前田保育園）
入選　じごくのおふろは あったかいねぇ～ ……福田真姫（あいかわ保育園）
入選　どんな おにも こわくないぞ ……佐藤響（たかのす幼稚園）
入選　つよいぞ！ フックせんちょう ……長岐和（鷹巣中央保育園）
入選　すごいぞ！ ぱんぷくん ……谷藤楓馬（鷹巣中央保育園）
入選　みんな やったね！ ねずみくんが王様だ ……九嶋莉那（七日市保育園）
佳作　ばんざーい！ おおきなかぶが ぬけました ……佐藤那奈（米内沢保育園）
佳作　じんどんきのおなかのなかは おもしろい ……金田魁斗（あいかわ保育園）
佳作　はりのやまでも だいじょうぶ ……松岡譲（あいかわ保育園）
佳作　いっすんぼうしは つよいな ……奥山愛理（たかのす幼稚園）
佳作　いいてんきだね きもちいいね ……平野那知（認定こども園しゃろーむ）
佳作　おにさん こちら！ ……長牛紅葉（鷹巣中央保育園）
佳作　おりょうりをして みんなでかぶをたべましょ ……田村れな（鷹巣東保育園）
佳作　てぶくろのなか あったかいね ……村上なぎさ（鷹巣東保育園）
佳作　にじいろのさかなになって うみのなかを さんぽしたいな ……柏木芽奈（綴子保育園）
佳作　たべものが いっぱいでびっくり ……松山真菜（綴子保育園）
佳作　みんなで かぶをぬこう ……宮野里月（南鷹巣保育園）

小学校　一年生

特選　ほっほっほ〜、みんなよかったのう　……　長岐　喬（鷹巣東小学校）
特選　フラミンゴとあそんだよ　……　平川　晴菜（合川西小学校）
入選　おこっている りゅう　……　武石　考世（米内沢小学校）
入選　かぶスーパーロケットで、うちゅうへゴー！　……　新田 リチャード（合川東小学校）
入選　お母さん、お月さまは どれくらいとおいの　……　さとう　かなみ（鷹巣小学校）
入選　空とぶくじらは、力つきた　……　大しま　あさみ（鷹巣小学校）
入選　お月さまは どれくらいとおいの　……　三さわ　そうき（鷹巣小学校）
入選　サバイが2ひきいるといいな　……　さえき　いつき（鷹巣小学校）
佳作　きょうりゅうと あそんだよ　……　湊　彩音（阿仁合小学校）
佳作　いいな いいな このおうち　……　舘岡 颯来（大阿仁小学校）
佳作　ぼくもティラノサウルスに ごちそうしたよ　……　河田 健登（合川北小学校）
佳作　うれしいなみだを ながすりゅう　……　髙坂 冴来（鷹巣西小学校）
佳作　町へむかって さあいくぞ！　……　片山 優希（鷹巣西小学校）
佳作　おくりものがきてよかったね　……　三沢 駿介（綴子小学校）
佳作　うたっている おばけちゃん　……　さとう あいな（鷹巣小学校）
佳作　くじらは 空をめざしたよ　……　にしね いぶき（鷹巣小学校）
佳作　おれはねこだ、さかなをたべるぞ　……　はたけ山 そうた（鷹巣小学校）
佳作　ざりがにくん、けんかしようか　……　にしじま せな（鷹巣小学校）
佳作　ながれぼし見つけた　……　大山 美柚（鷹巣東小学校）
佳作　マヤイ がんばれ　……　堀内 美羽（鷹巣南小学校）
佳作　みんな いっしょだよ　……　長岐 光瑠（鷹巣南小学校）

小学校　二年生

特選　雪ばとのほしかったプレゼント……佐藤　裕（綴子小学校）
特選　ながれ星の中の100かいだての家……後藤　叶（合川東小学校）
入選　にじいろのさかなと海のダンスパーティー……加賀谷　愛依（阿仁合小学校）
入選　まっかにもえるまち……しば田　びん（大阿仁小学校）
入選　ふしぎな木でとんだよ……三浦　有斗（合川南小学校）
入選　わあ、サメだ……魚住　隆人（鷹巣小学校）
入選　なきおばけたちとモモちゃん……芳賀　彩那（鷹巣中央小学校）
入選　ポンポン楽しそう……中嶋　杏（鷹巣中央小学校）
佳作　ちからたろう……九島　一輝（米内沢小学校）
佳作　あまえていたいよ、お母さん……神成　風太（浦田小学校）
佳作　こん虫の王さまの100かいだての家……福田　舜太郎（合川東小学校）
佳作　船になったりゅう……津谷　一梓（鷹巣西小学校）
佳作　べろべろ　ばあー……長崎　すみれ（鷹巣西小学校）
佳作　ふしぎなキャンディー　ぼくにもください……上野　陽登（鷹巣西小学校）
佳作　楽しいおばけの町……岩本　瑠衣（鷹巣西小学校）
佳作　ぼくはだれのぶぶんなの？……近藤　春樹（綴子小学校）
佳作　ゆめの国のおかしの家……工藤　凛（鷹巣小学校）
佳作　たすけて……佐藤　晃太朗（鷹巣東小学校）
佳作　キャンプ　楽しいね……藤本　安佳里（鷹巣中央小学校）
佳作　木の上の楽しいおうち……千葉　駿太（鷹巣南小学校）

応募された方々〈感想文〉

小学校　三年生

奥山容子（米内沢小）
鈴木孝明（大阿仁小）
杉渕彩花（合川南小）
和田静香（鷹巣小）
高橋史佳（鷹巣東小）
村上栞菜（鷹巣東小）
九嶋希莉（鷹巣南小）

田中香里（前田小）
成田海斗（合川南小）
田中優衣（合川南小）
畠山鈴音（鷹巣小）
佐々木芽生（鷹巣東小）
藤嶋健太（鷹巣東小）

菅原亜子（前田小）
三浦基輝（合川南小）
三浦栞奈（合川南小）
小山海斗（鷹巣小）
小坂一翔（鷹巣東小）
藤嶋陽苗（鷹巣南小）

小学校四年生

武田直也（米内沢小）
春日　結（前田小）
三浦美穂子（前田小）
田中七美（前田小）
山田正弥（阿仁合小）
松橋　和（大阿仁小）
伊藤　岬（合川南小）
伊藤咲良（合川南小）
永井里奈（合川北小）
三澤乃亜（綴子小）
齋藤りこ（鷹巣東小）

斉藤達也（米内沢小）
戸沢彩子（前田小）
山田美久（前田小）
松浦　唯（前田小）
加賀幸秀（阿仁合小）
鈴木亜斗武（大阿仁小）
土濃塚悠成（合川南小）
成田有彩花（合川南小）
工藤夕奈（綴子小）
津谷万柚子（鷹巣小）
笹原羽衣（鷹巣中央小）

春日　蒼（前田小）
森川亜海（前田小）
庄司　丞（前田小）
森川亜奈（前田小）
松橋純菜（大阿仁小）
石上十大（合川南小）
福岡秀輝（合川南小）
松橋成美（合川南小）
齋藤菜摘（綴子小）
加賀谷詩織（鷹巣小）
佐藤樹音（鷹巣南小）

小学校五年生

渡部美咲（米内沢小）

武石　諒（米内沢小）

湊　雪奈（阿仁合小）

松橋未来（大阿仁小）
三浦くるみ（合川南小）
加藤俊文（合川南小）
佐藤直哉（鷹巣小）
髙橋美樹（鷹巣小）
村上那々（鷹巣東小）
神成聖奈（鷹巣南小）

鈴木杏菜（大阿仁小）
鈴木　萌（合川南小）
工藤真寛（合川北小）
茂内花歩（鷹巣小）
津谷瑞希（鷹巣小）
仲居　綾（鷹巣東小）
佐藤麻望（鷹巣南小）

三浦那奈（合川南小）
三浦佑斗（合川南小）
板倉優香（鷹巣小）
北林治朗（鷹巣小）
戸嶋あつき（鷹巣小）
千葉海里（鷹巣南小）
長岐南美（鷹巣南小）

小学校六年生

木村太成（米内沢小）
白沢有理沙（浦田小）
鈴木愛華（大阿仁小）
佐藤芙優（合川東小）
堀内亮太（綴子小）
花田拓弥（鷹巣中央小）
佐藤光穂（鷹巣中央小）

千葉瑠羅（米内沢小）
佐藤　走（大阿仁小）
松橋郁実（大阿仁小）
藤嶋哲平（合川北小）
鈴木隆也（鷹巣小）
泉　茉希（鷹巣中央小）
神成舞雪（鷹巣南小）

山田千尋（米内沢小）
鈴木大和（大阿仁小）
佐藤聖玲菜（大阿仁小）
山内優希（綴子小）
小前里奈（鷹巣小）
工藤希美子（鷹巣中央小）
藤嶋椎菜（鷹巣南小）

中学校二年生

千葉めぐみ（合川中）
宮野佳那子（森吉中）

高橋　翔（森吉中）
高橋智佳（森吉中）

長岐千晶（森吉中）
吉田なる海（森吉中）

応募された方々〈感想画〉

幼稚園・保育園

工藤祐輔（米内沢保）
佐藤　佑（前田保）
片岡喜翔（前田保）
田中幸輝（前田保）
簾内咲羽（前田保）
松岡海音（あいかわ保）
工藤　凱（あいかわ保）
工藤　葵（あいかわ保）
土ノ塚　翔（あいかわ保）
三沢茉奈（たかのす幼）
成田美桜（たかのす幼）
秩父孝真（たかのす幼）
佐々木琉偉（たかのす幼）
久留嶋愛美香（鷹巣中央保）
高橋美遥（鷹巣中央保）
大塚晨侃（鷹巣中央保）
八代康嵩（鷹巣中央保）
馬淵巌士（鷹巣中央保）
成田椎磨（鷹巣中央保）
佐藤滉大（鷹巣東保）
武田晟奈（綴子保）

武石心愛（米内沢保）
三浦菜々子（前田保）
藤島優輝（前田保）
菅原陽介（前田保）
工藤靖凪（前田保）
杉渕南葵（あいかわ保）
三浦一誠（あいかわ保）
永井里佳（あいかわ保）
原田　樹（あいかわ保）
佐藤礼菜（たかのす幼）
成田風花（たかのす幼）
山本ほのか（たかのす幼）
三浦　帆乃華（鷹巣中央保）
田村悠那（鷹巣中央保）
松尾幸亮（鷹巣中央保）
湊屋流奈（鷹巣中央保）
涌坪玲綾（鷹巣中央保）
藤島神名（鷹巣中央保）
日下部　和（鷹巣東保）
仲居　健（鷹巣東保）
三澤里夢（綴子保）

春日　碧（前田保）
織田　優（前田保）
三浦健太（前田保）
松浦優依（前田保）
菅原　典（前田保）
桜庭史彬（あいかわ保）
工藤彩乃（あいかわ保）
櫻田　壮（あいかわ保）
杉渕柊平（あいかわ保）
中嶋彩香（たかのす幼）
野呂衿央（たかのす幼）
伊藤明莉（たかのす幼）
児玉杏奈（鷹巣中央保）
堀部百々花（鷹巣中央保）
簾内佑希菜（鷹巣中央保）
小笠原彩乃（鷹巣中央保）
木村史哉（鷹巣中央保）
長谷川　陸（鷹巣中央保）
石黒夏基（鷹巣東保）
出雲大翔（鷹巣東保）
三澤姫菜乃（綴子保）

山田彩人（綴子保）
高杉京佑（綴子保）
奈良田心（綴子保）
高橋京（綴子保）
宮野裕規（綴子保）
長崎昇子（綴子保）
藤島伊織（綴子保）
伊藤沙愛（南鷹巣保）
疋田航（南鷹巣保）
亀山翔也（南鷹巣保）
畠山陽佳瑠（南鷹巣保）
三浦天太（南鷹巣保）
齋藤遼河（南鷹巣保）
中嶋美那（南鷹巣保）
本城谷優詩（南鷹巣保）
三沢翔（南鷹巣保）
近藤真緒（七日市保）
山田実歩（七日市保）
野崎静紅（しゃろーむ）
平塚塁（しゃろーむ）
千葉瑛汰（しゃろーむ）
千葉音陽（しゃろーむ）
斉藤宏和（しゃろーむ）

伊藤卓真（綴子保）
津谷航汰（綴子保）
武田晏奈（綴子保）
宮野尚斗（綴子保）
岩谷俊征（綴子保）
工藤結衣（綴子保）
米村彩羽（綴子保）
九島さくら（南鷹巣保）
佐藤久麗愛（南鷹巣保）
戸澤勇斗（南鷹巣保）
吉田梓（南鷹巣保）
佐藤愛夏（南鷹巣保）
成田海斗（南鷹巣保）
花田康貴（南鷹巣保）
川島帆南（南鷹巣保）
笹原萌音（南鷹巣保）
中田裕生（七日市保）
大坂陸駆（七日市保）
佐藤笑夢（しゃろーむ）
辻一華（しゃろーむ）
津谷昴典（しゃろーむ）
坂谷孔晟（しゃろーむ）
金澤寛武（しゃろーむ）

米沢光喜（綴子保）
村上日和（綴子保）
照内陽向（綴子保）
小笠原優斗（綴子保）
宮野一花（綴子保）
藤田夕雅（綴子保）
長崎東子（綴子保）
小塚未祐（南鷹巣保）
畠山正輝（南鷹巣保）
千葉悠奈（南鷹巣保）
笹原千洋（南鷹巣保）
藤田奈美葵（南鷹巣保）
成田理人（南鷹巣保）
近藤菜々子（南鷹巣保）
今天生（南鷹巣保）
布田まなみ（七日市保）
成田彩希（七日市保）
神成彩音（七日市保）
堀内健太（しゃろーむ）
肥後好伸（しゃろーむ）
佐藤塁（しゃろーむ）
藤嶋悠人（しゃろーむ）
増田かれん（しゃろーむ）

小学校一年生

金澤　きらら（しゃろーむ）
魚住　隆希（しゃろーむ）

新林　未悠（米内沢小）
藤本　陽向（浦田小）
神成　百音（浦田小）
石田　麻樹（大阿仁小）
小森　大雅（合川東小）
鈴木　綾那（合川西小）
三浦　史帆（合川南小）
寺田　実生（鷹巣西小）
久野木　晃（鷹巣西小）
三澤　隆洋（綴子小）
金田　亜紗妃（綴子小）
田中　菜々未（綴子小）
金ざわ　なち（鷹巣小）
つや　とも子（鷹巣小）
はせ川　かのん（鷹巣小）
なり田　あやの（鷹巣小）
すのうち　みさき（鷹巣小）
おかだ　きょうのすけ（鷹巣小）
さとう　ゆうや（鷹巣小）
なり田　せいご（鷹巣小）

鈴木　唯来（しゃろーむ）
庄司　玲音（しゃろーむ）

鈴木　美夢（米内沢小）
柴田　怜司（浦田小）
柴田　和希（浦田小）
髙関　茜（大阿仁小）
佐藤　愛（合川東小）
齊藤　祥吾（合川西小）
三浦　笑茉（合川南小）
寺田　直生（鷹巣西小）
桜田　龍之介（鷹巣西小）
高橋　羽都紀（綴子小）
今川　優奈（綴子小）
みうら　あやせ（鷹巣小）
小山　はると（鷹巣小）
上田　かのん（鷹巣小）
はたけ山　む月（鷹巣小）
あかしらん（鷹巣小）
なり田　りゅう二ろう（鷹巣小）
おわり　ゆうた（鷹巣小）
すずき　つばさ（鷹巣小）
はたけ山　こうりょう（鷹巣小）

松橋　藍斗（しゃろーむ）

奥山　侑（米内沢小）
神成　恋（浦田小）
小松　環斗（阿仁合小）
小野　恭輔（合川東小）
平川　栞（合川西小）
松岡　虎之介（合川西小）
藤嶋　秀飛（鷹巣西小）
長崎　佑柊（鷹巣西小）
寺田　ゆあん（鷹巣西小）
宮野　萌（綴子小）
内山　兼梧（綴子小）
くまがい　きょうすけ（鷹巣小）
いとう　きよか（鷹巣小）
さとう　せな（鷹巣小）
さとう　大せい（鷹巣小）
いいむら　みく（鷹巣小）
ささ木　おとは（鷹巣小）
ささ木　かいり（鷹巣小）
ながき　はるひ（鷹巣小）
まつお　しょうや（鷹巣小）

いち川　すばる（鷹　巣　小）
ささき　さやか（鷹　巣　小）
たかはし　まゆ子（鷹　巣　小）
ないとう　すずは（鷹　巣　小）
高　橋　すみれ（鷹巣東小）
鍋　倉　　礼（鷹巣東小）
五十嵐　大　樹（鷹巣東小）
村　上　の　あ（鷹巣東小）
しばもり　かずき（鷹巣中央小）
なり田　そうし（鷹巣中央小）
こづか　み　お（鷹巣中央小）
さとう　うすみ（鷹巣中央小）
たけ石　こと な（鷹巣中央小）
ながき　かなえ（鷹巣中央小）
本じょうや　ゆきの（鷹巣中央小）
木　村　拓　海（鷹巣南小）
渡　辺　英　恋（鷹巣南小）
布　田　茉　穂（鷹巣南小）

石　田　かのん（鷹　巣　小）
さとう　わかな（鷹　巣　小）
たなか　な　な（鷹　巣　小）
みつくら　まりあ（鷹　巣　小）
小　畑　優　悟（鷹巣東小）
齊　藤　侃　泰（鷹巣東小）
會　田　彩　乃（鷹巣東小）
小　林　けいた（鷹巣中央小）
ちば　こうた（鷹巣中央小）
つ　じ　しょうた（鷹巣中央小）
こんどう　きほ（鷹巣中央小）
さとう　はるな（鷹巣中央小）
とみさわ　りおな（鷹巣中央小）
はが　はるひ（鷹巣中央小）
むらかみ　はるの（鷹巣中央小）
佐　藤　翔　真（鷹巣南小）
佐　藤　麟太郎（鷹巣南小）
堀　部　瑞　穂（鷹巣南小）

えびな　ゆり子（鷹　巣　小）
すずき　すみか（鷹　巣　小）
つ　や　みさき（鷹　巣　小）
伊　藤　勇　樹（鷹巣東小）
小　坂　朝　陽（鷹巣東小）
松　尾　颯　馬（鷹巣東小）
村　上　茅　花（鷹巣東小）
しばた　こうき（鷹巣中央小）
中じま　ゆうと（鷹巣中央小）
かめ山　はるか（鷹巣中央小）
ささだい　ことり（鷹巣中央小）
たかはし　まりか（鷹巣中央小）
中じま　あんり（鷹巣中央小）
はたけ山　みと（鷹巣中央小）
佐　藤　美　優（鷹巣南小）
小　林　嵯久矢（鷹巣南小）
岩　本　真菜香（鷹巣南小）
神　成　就　斗（鷹巣南小）

小学校二年生

進　藤　千　冬（米内沢小）
大　沢　涼　太（米内沢小）
松　浦　　萌（米内沢小）
皆　川　倫之介（米内沢小）

久　島　桃　依（米内沢小）
奥　山　ひかる（米内沢小）
吉　田　健　人（米内沢小）
藤　本　健　治（浦　田　小）

柴　田　佑　介（米内沢小）
麻　生　春　樹（米内沢小）
佐　藤　魁　人（米内沢小）
加　賀　匠　海（浦　田　小）

鈴木和真（浦田小）
中村美和（阿仁合小）
すず木ま子（大阿仁小）
高木あずさ（大阿仁小）
永井綾華（合川東小）
長谷川ろこ（合川東小）
藤田友馬（鷹巣西小）
成田健斗（鷹巣西小）
高橋　叶（鷹巣西小）
堀内瑛光（綴子小）
宮野空見（綴子小）
平野伶欧（鷹巣小）
桑山悠希（鷹巣小）
三澤　笙（鷹巣小）
成田雪乃（鷹巣小）
松岡優里（鷹巣小）
佐藤　旭（鷹巣小）
高橋里早（鷹巣小）
鈴木梨花（鷹巣小）
小川優人（鷹巣小）
坂谷太晟（鷹巣小）
田村大地（鷹巣小）
藤嶋　来（鷹巣小）

菅原美咲（前田小）
大野璃美（阿仁合小）
さとう　あつき（大阿仁小）
まつはし　みか（大阿仁小）
松岡陽人（合川東小）
土濃塚勇輝（合川南小）
髙坂虎楠（鷹巣西小）
原田泰一（鷹巣西小）
長崎亜美（鷹巣西小）
堀内麻未（綴子小）
大森悠平（鷹巣小）
小笠原　翼（鷹巣小）
櫻田理仁（鷹巣小）
小平千尋（鷹巣小）
小畑一輝（鷹巣小）
大森開登（鷹巣小）
佐藤亜海（鷹巣小）
稲葉海咲（鷹巣小）
川村晏生（鷹巣小）
加賀谷　諒（鷹巣小）
佐藤　壮（鷹巣小）
津谷光也（鷹巣小）
三澤岳瑠（鷹巣小）

福嶋洸洋（阿仁合小）
すず木あんな（大阿仁小）
まつはしゆう太（大阿仁小）
まつはし　のぞみ（大阿仁小）
関　亨純（合川東小）
伊藤那穂（合川南小）
長崎安依南（鷹巣西小）
津谷拓実（鷹巣西小）
石田真翔（鷹巣西小）
羽澤海斗（綴子小）
矢部絵玲菜（鷹巣小）
鈴木咲良（鷹巣小）
児玉寛明（鷹巣小）
小林広希（鷹巣小）
嶺脇朝望（鷹巣小）
畠山みのり（鷹巣小）
長谷川もえ（鷹巣小）
山本英駿（鷹巣小）
五代儀雅妃（鷹巣小）
斎藤飛翔（鷹巣小）
金澤　駿（鷹巣小）
長崎佑亮（鷹巣小）
望月雅斗（鷹巣小）

若松陽弥（鷹巣小）
鎌田真祐名（鷹巣小）
鈴木美遥（鷹巣小）
畠山　和（鷹巣小）
山田柚希（鷹巣小）
田村駿斗（鷹巣東小）
小森聖人（鷹巣東小）
村上日菜（鷹巣東小）
三澤あさ美（鷹巣東小）
九島真之助（鷹巣中央小）
佐藤功真（鷹巣中央小）
成田　涼（鷹巣中央小）
田川禎章（鷹巣中央小）
木村友香（鷹巣中央小）
佐藤茉奈（鷹巣中央小）
高谷萌夏（鷹巣中央小）
野呂くれあ（鷹巣中央小）
安井陽菜（鷹巣中央小）
長岐花歩（鷹巣南小）
佐藤桃華（鷹巣南小）
三上美里（鷹巣南小）
いとうみずき（鷹巣南小）

五代儀るい（鷹巣小）
九島亜美（鷹巣小）
谷藤萌奈（鷹巣小）
林　風花（鷹巣小）
齋藤奏太（鷹巣東小）
松尾知笑（鷹巣東小）
村上一大（鷹巣東小）
畠山颯太（鷹巣東小）
髙橋　涼（鷹巣東小）
近藤優真（鷹巣中央小）
佐藤晴世（鷹巣中央小）
畠山暁弥（鷹巣中央小）
泉　実希（鷹巣中央小）
近藤咲良（鷹巣中央小）
柴田愛菜（鷹巣中央小）
冨樫穂乃風（鷹巣中央小）
羽場桜来（鷹巣中央小）
花田真有紀（鷹巣中央小）
藤本　巽（鷹巣南小）
佐藤伊吹（鷹巣南小）
岩本真奈（鷹巣南小）
成田光希（鷹巣南小）

小野寺花奈（鷹巣小）
久保理咲子（鷹巣小）
萩野さくら（鷹巣小）
森山桃葉（鷹巣小）
和田勝真（鷹巣東小）
田村結南（鷹巣東小）
照内雄貴（鷹巣東小）
松尾圭翔（鷹巣東小）
渡部友太（鷹巣東小）
笹原汐苑（鷹巣中央小）
成田悠人（鷹巣中央小）
畠山春樹（鷹巣中央小）
岩本悠花（鷹巣中央小）
佐藤南奈（鷹巣中央小）
庄司和奏（鷹巣中央小）
中嶋紗也（鷹巣中央小）
藤田奈純菜（鷹巣中央小）
近藤萌絵（鷹巣南小）
ふじ原ゆう太（鷹巣南小）
神成菜々子（鷹巣南小）
鎌田　奨（鷹巣南小）
佐藤優香（鷹巣南小）

応募者数及び入賞者数一覧

≪感想文≫

部門		応募者	特選	入選	佳作
小学校	3年生	29	1	3	6
	4年生	43	1	3	6
	5年生	34	1	3	6
	6年生	31	1	3	6
中学校	1年生	2			2
	2年生	11	1	2	2
	3年生	2			2
高校・一般		5	2	1	2
合計		157	7	15	32

≪感想画≫

部門		応募者	特選	入選	佳作
幼稚園・保育園		156	2	6	11
小学校	1年生	135	2	6	13
	2年生	167	2	6	12
合計		458	6	18	36